

いなほ

8

Vol.35

発行所 医療法人凌雲会・社会福祉法人凌雲福祉会/板野郡藍住町笠木字西野50-1/☎(088)692-5757



メデイション凌雲

入居スタート!!

安心とチャレンジ そんな生活をしてみませんか?

「住み慣れた地域で暮らす。」これは誰しもが願うことです。しかし、今まで暮らしてきたご自宅は年を重ねるごとに使い慣れた部分とそうでない部分が増えてくることもあるかもしれません。また、急な病気やけがで入院を余儀なくされた経験をお持ちの方が一番不安に思うことは、「また(家において)同じ病気になったらどうしよう。医療を受けられるところがあれば」と思われるでしょう。

このような不安をお持ちの方々の暮らしを支援できるよう、この度、高齢者専用賃貸住宅メデイション凌雲をオープンいたしました。

1階部分にはクリニック(診療所)やヘルパーステーションがあり、日中は医師や看護師、リハビリテーションスタッフ、ヘルパー等が勤務しております。また、各室には緊急呼び出しコールが完備されており、日中急変時には医療スタッフが駆けつけます。また夜間においても緊急時には宿直スタッフが稲次

「整形外科病院や訪問看護ステーションに連絡するといったバックアップ体制がありますので、安心した生活の実現にむけて支援させていただきます。」施設ではありませんので、細かい規則や決められた日常プログラムのようなものはありません。ここでの主役は、生活をされるみなさんです。自分らしい生活をお楽しみいただけます。また、要介護状態になってもできる限りご自身で身の回りのことができるように、リハビリテーション等を行いながらチャレンジし続けませんか。そのためにはわれわれスタッフは支援を惜しみません。

最後になりましたが、工事期間中は近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

適合高齢者専用賃貸住宅
メデイション凌雲
施設長 井内 慎也
☎088-679-18880

設備概要

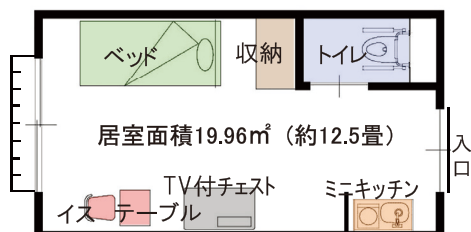
居室設備 (全 51 戸)

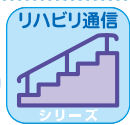
- 高さ調整機能付きベッド (フランスベッド製)
- 液晶TV, チェスト, イス, テーブル
- 手すり, ウォシュレット付トイレ
- ミニキッチン (IH), エアコン, 照明設備
- 緊急通報装置 (ベッドサイド, トイレ2ヶ所)

共有設備

- 家庭用浴室 (3 室)
- 介護浴室 (2 室)
- 食堂兼談話室
- 洗濯乾燥機コーナー (各フロア)
- 駐車場

居室レイアウト





Vol.3

知っておくと得をするリハビリの話 — 温湿布と冷湿布について —



稲次整形外科病院
リハビリテーション部
篠宮 史枝



体に痛みを感じた時、みなさんは湿布を貼る事が多くないですか？そして、湿布には温湿布と冷湿布があり、どちらを貼っていいのか迷ったことがあると思います。適当に貼っておけばいいというものではなく症状に合わせて上手に使っていく必要があります。今回は、湿布について簡単に説明させていただきます。

《冷湿布について》

冷湿布は急な痛みの場合、例えば捻挫やぎっくり腰など、熱や腫れがある場合に使います。また、冷たさを出すためにメントールなどが使われていて、熱を下げる作用もあります。

《温湿布について》

温湿布は長期的な痛みの場合に使います。温湿布は主に血行をよくすることを目的としています。湿布自体が高温になるも

のから、カプサイシン（トウガラシ成分）を含み、その成分によって血管が広がるものなどがあります。ここで、注意点があります!! カプサイシンを含んでいる温湿布は、はがしてすぐに湯船に浸かると、肌がピリピリと痛む方もいらっしゃるようですので、入浴の30分から1時間前にははがすことをおすすめします。

湿布には強い痛み止め（インドメタシンなど）が含まれているものがあり、これらは速く効きますが、副作用として、眠気・めまい・ふらつきが出たりすることもありますので注意が必要です。



基本的には冷湿布・温湿布ともに痛みを和らげ、薬の効果としては同じものですが、前に述べたように様々な副作用が起こることがありますので、医師や薬剤師の指示のもとで使用することが望ましいです。また、使用後も痛みが続いたり症状が悪化するようであれば、我慢したり自己判断をせずに、早い段階で専門医療機関に受診することをお勧めします。



シリーズ Vol.3

あなたの生活サポートします! — 住宅改修 —



昴居宅介護支援事業所
阿部 圭二

今回は、介護保険における「住宅改修」について説明させていただきます。

高齢者になって介護が必要になった時、住み慣れた自宅で今まで通りに暮らしたい、近所の人達とも交流を保ちたいとの希望を持っている人は多いと思います。

しかし、日本の住宅は和式が多く、室内の段差、便所・風呂場にも高齢者には利用しづらい又危険な様式が多くあります。そこで、介護が必要になった方が安全で安心して暮らせる為に住宅改修には介護保険での給付（補助金）対象の制度があります。具体的には、



- ① 玄関・屋内等にある「段差の解消」
 - ② 廊下・便所・風呂場等への「手すりの取り付け」
 - ③ 寝室の畳から木製床材への変更等の「床又は通路面の材料の変更」
 - ④ 開き戸を引戸・折戸等への「扉の変更」
 - ⑤ 和式便器を洋式便器に変更する「便器の取替え」等です。
- これら改修に掛かる費用についての給付（補助金）は、限度額が20万円でその9割18万円が上限になります。
- 申請書類の作成については私達ケアマネジャー（介護支援専門員）が必要書類を御一緒に作成し市町村役場に提出させて頂きます。この制度を御希望される方はまず担当ケアマネジャー（介護支援専門員）までお気軽に御相談下さい。

シリーズ
Vol.3

お出かけスポット



ご紹介



グループホーム 親の家
平川 公大

— 凌雲グループ職員が個人的にお勧めする —

鳴門の渦で残暑を吹き飛ばそう！！



今回、私が紹介するスポットは、鳴門公園内にある大鳴門橋遊歩道「渦の道」です。渦上 45mの高さにある遊歩道は、スリルがありまた鳴門海峡に吹き込む潮風によって納涼にピッタリです。展望室までは 450mの道のり。歩き疲れたら、途中の休憩所でひと休み。4ヵ所の休憩所にはガラス床があり、覗き込むと涼しくなること間違いなしです。展望室に着くと、瀬戸内側と太平洋側が望める最高の景色が待っています。そして満潮時に合わせて行くと、畳み1枚ほどの大きさがあるガラス床から、激しく渦巻く潮を見ることができ、ずっと眺めていても飽きることを知りません。

もう1つこの「渦の道」をお勧めする理由は、職員が親切なことです。先日「親の家」のご利用者と同った際にも、職員の方々が駐車場まで迎えに来て下さり、入り口まで案内してくださいました。身障者用の駐車場は、施設の近くにあり、事前に連絡すれば普通車3～4台分を無償で提供して下さいます。トイレは入り口の待合室と展望室の2ヵ所、車椅子・シルバーカーも完備しています。厳しい残暑が続くこの季節、涼しさ求めて足を赴かせてみてはいかがでしょうか。

渦の道 鳴門市鳴門町（鳴門公園内）
☎ 088-683-6262 FAX 088-683-6266

利用者さん紹介

シリーズ
Vol.3

～ デイサービスセンター藍 岡久 フシ子さん～

デイサービスセンター藍ご利用の岡久 フシ子さんは今年で 92 歳！！

藍では、いつも自慢の唄を披露して下さいる元気なお母さんです。今回は岡久さんに色々とインタビューさせていただきました。

Q1. デイ藍での一番の楽しみはなんですか？

岡久 やっぱりフロが一番ええわあ。職員が付きて添ってくれて、ゆっくりと安心して入る事が出来る。おフロは気持ちがスツとする。フロ上がりにはソーダが出てきたら、なんも言う事ないわあ。

Q2. 趣味を教えてください。

岡久 工作や塗り絵のように作業する事が大好きです。ほれと、外へ出て行く事。ここは色んなところへ連れてってくれるけんええわあ。

Q3. 外出行事で思い出に残っている場所を教えてください。

岡久 石井町地福寺の藤祭りがよかった。寺の中へ入るといい香りがして、藤の花が満開で本当に見事だった。また連れて行ってほしいわあ。

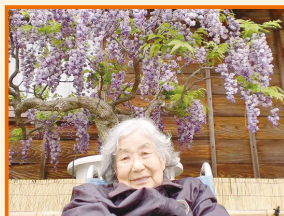
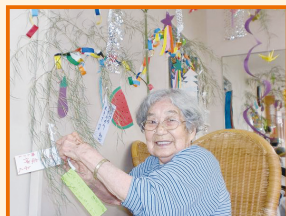
Q4. 最後にみんなで行ってみたい所ありませんか？

岡久 眉山のてっぺんに行きたい！景色や空気が気持ちいい。若い頃は寺町で住んどったけど子どもと一緒にいた。また行ってみたいわあ。

(※ 今年の遠足に企画していきたいと思いますのでご期待下さい！)

いつも唄や楽しい会話で盛り上げて下さるデイ藍のムードメーカー！時には厳しいお言葉もありますが…。引き続き『藍』をよろしく願ひいたします。ありがとうございました。

デイサービスセンター藍 課長補佐 井原 勇規



つなみ 被災地支援に思うこと

雪がちらつく中発生した巨大地震は、大津波を起こし、それまで平和であった町を飲み込み、そこで暮らしていた人たちの、幸せな生活を一瞬にして奪ってしまいました。

誰もが当たり前だと思っていた日々の生活が、実は当たり前ではないことに気づかされました。

あの大震災から5ヶ月が過ぎました。震災直後から、全国の多くの人が被災地に入り、支援活動にあたっています。

私も相談支援専門員として、宮城県からの派遣依頼を受けて、気仙沼市に6月、7月にかけて2

週間ではありましたが、微力ながら障がい者支援に関わらせていただきました。

現地での活動内容は、福祉避難所や自宅への訪問相談活動、通院の付き添い



「今でも現実の世界と非現実の世界を行ったり来たりして、まるで夢の中にいるような感じですか。『今でも夢であってほしい』と、毎日思うんです。」と現地の相談員が話して

や入浴介助、移動支援、掃除や買物介助などの支援を行いました。



くれた言葉が深く印象に残っています。「家や家族を流され生きる支えや目標を失った人」「会社が流された人」「生活に馴染めず居場所」に苦しんでいる人」など、現地の障がい者にとつて、様々な生活課題がそこに横たわっていました。

今回の震災は「想定外である」という言葉をよく耳にします。確かにそうであつたかも知れません。しかし、想定外のことが起こりうることを私たちは学び、常に意識して日々の生活のあり方や備えについて考えていく必要性を感じました。



障害者生活支援センター 凌雲
施設長 松下 義雄

すだちくんメールを ご存知でしょうか？

大規模な地震などの非常時に、家族と情報のやり取りが可能なメールサービスが、徳島県の行っている安否確認サービスのすだちくんメールです。このメールサービスは、ヤフージャパンとの連携で、利用方法は徳島県のホームページに詳しく説明されています。東北地方太平洋沖地震のような大災害では、携帯電話を使ったこれらの連絡ツールは有用ですが、いまから準備しておくか、いざ事が起こってからでは利用できません。このメールサービスは普段の連絡先としても利用できますので、登録することをお勧めします。



すだちくんメール紹介



予定です。又、被災情報を素早く得る為の準備を始めています。NTTが行っている災害伝言ダイヤル（171）は、数年前より訓練を行なっています。凌雲グループ全スタッフが被災情報や出社可否のツールとして利用予定ですが、家族との連絡手段としても比較的簡単に利用できますので、毎月1日、15日、防災週間等の体験利用をご家族で体験されてはどうでしょうか。

法人管理部 課長

浦山 和生



すだちくんメール
<http://ourtokushima.jp>

患者会からの報告

— 大塚国際美術館 —

6月26日、台風5号の余波のなか、私達「ぜんしん望会」の会員及び同伴者20数名で【大塚国際美術館】に行ってまいりました。展示物は時代やテーマに分けて、B3Fから階を上がるごとに古代～現代へと展示されており、芸術に関心の少ない私でも素晴らしい名画・壁画に足をとめ見入り、ガイドの方の説明に耳を傾けました。

美術館は大塚グループが記念事業として設立し、日本最大の展示スペースを有し名画1,000余点が特殊技術によってオリジナル作品と同じ大きさに複製されているので短時間ではとても全部見ることは不可能でした。またゆっくりと時間を持ち、拝見できる機会があればと思います。



これからも計画された行事には多数ご参加され会員及び家族間での交流を深めることができると願います。

追伸：B3F ミュージアムショップ前ではロボット人間の目を見つめて話しをすると、自分に良く似た画像のある場所を教えてください。

ぜんしん望会 会長 松村 誉一

ぜんしん望会では皆様のご参加をお待ちしております。活動内容は年に1回の懇親会と数回の勉強会等のご案内、他当院のトピックス等をお知らせしております。脳卒中患者さんや脳卒中について興味のある方のご参加をお待ちしております。申し込み方法は直接稲次整形外科病院受付カウンター事務局 高橋 三好までご一報ください。

100歳
おめでとう!!
昂

鎌田 喜久恵さん 生誕 100 周年

♥ メモリアルバースデーパーティー ♥



ついに、この日がやってきました。平成23年8月1日。昂に入所中の我らが鎌田喜久恵さん。ついに！100歳を迎えられました。なんと、昂では、100歳を迎えられた方は2人目。鎌田さんの誕生日を祝うにあたり、本人やご家族に喜んでもらえるものは何かを皆で考えた結果、鎌田さんの100年を振り返って、それをDVDにまとめて、当日に、皆に見てもらおうということになりました。ご家族より、昔

の写真や履歴書を提供していただき、みなさんの協力を得て、ステキなDVDが完成しました。(これが泣けるんです)そして、迎えた本番当日！鎌田さんもおしゃれをして壇上にあがり、パーティー会場からは祝福の嵐。徳島県長寿保険課課長補佐様、鳴門市長様、鳴門市社会福祉協議会副会長様、大麻地区社会福祉協議会会長様からの祝辞。ご家族より100本の赤いバラ、そして、曾孫さんからの花束などなど。

多数のプレゼント、お祝いの言葉に鎌田さんも笑顔で「ありがとうございます」と答えていらっしゃいました。その日の夜は、少し疲れてよくお休みになりました。鎌田さんは、看護婦・保健婦をされてきた私達の大先輩。その歴史に少しでも関わることが出来てとても光栄でした。これからも、1日1日大切に、一緒に楽しく生活していきましょうね。

100歳 バンザーイ!!

老人保健施設 昂 杉山 純子

ちびっこ園卒園生が昴に就業体験!?

ちびっこ園卒園生、早山 勇真君、昴にて職場体験

早山 勇真君は、平成9年1歳の時にちびっこ園へ入園しました。勇真君は、小さい時に抱いてもらった利用者の方々に会いたくて職場体験の場所を昴に決めました。

この、職場体験という活動は、中学3年の時に、実際に職場で活動することを通して、社会人としての行き方を学び、働くことの目的や意義、自身の生き方を考える機会とし、また、自ら課題を見つけ課題解決を図る力を養うことを目的としています。

お母さんは、昴で勤務している早山 真澄さんです。毎年、ちびっこ園・昴と合同で行われる運動会では、利用者の方々に抱かれるとビービーと泣いていた勇真君は、13年ぶりに昴にやってきました。

ちびっこ園時代の勇真君



小さかった勇真君は、さわやかな野球少年に成長していました。昴では通所リハビリで職場体験として活動してもらいました。最後の日に、野球ゲームを生活リハビリとして行い、勇真君がバッターボックスに立ち、利用者の方々が大きなボールを投げて対決しました。勇真君がボールを打つと、皆さん大喝采、とても楽しい一時を過ごすことができました。7月6日～8日の3日間でしたが、勇真君からは、人と人が接することの大切さを学ぶことができたとお礼のお手紙を頂きました。

また、勇真君が、遊びに来てくれることを楽しみに利用者の方々とお待ちしております。

老人保健施設 昴 施設長 秋山 郁恵



素敵な体験とおもしろエピソード

★素敵な体験★

子ども達の食べる意欲と喜びにつながればと、子ども達のために作った園の南側の畑に、スイカとミニトマトが実りました。

7月28日、実ったスイカとミニトマトの収穫に目を輝かせ、『うわあ！スイカあった～。』

『こっちにもあるよ。見てみ！』『黄色のトマト食べれるん？』と、興味津々の子ども達。

収穫しながら、スイカの重さに驚いたり、木ではなく土の上に実ることを知ったり、ミニトマトの色や形の違いに気づき、友達と観察したりと様々な発見や驚きがありました。

収穫したスイカとミニトマトは園に持ち帰り、ミニトマトは流水で洗ったあとすぐに食べ、スイカは次の日にスイカ割りをして、みんなでテラスで食べました。

普段は自分から食べない子も、自分の手で収穫した物は『おいしそう！』と自分から口へ運び、パクパク食べていました。

今回のスイカとミニトマトの収穫が、子ども達の食べる意欲と喜びにつながり、とてもいい体験になりました。

★おもしろエピソード★

園庭で遊んでいたAちゃん(3歳児)が、ハウスの窓から顔を出し、『先生～！牛乳入れたけん、どうぞ。』と砂の入ったコップを手渡してくれました。

『ありがとう。』とカップをもらい、少し飲むフリをしたあと、『この牛乳はどこ産(産地)ですか？』と質問をしました。

すると、『え～っとこれは・・・うしさん(牛さん)です！』と答えが(笑)

可愛い間違いに一瞬笑いましたが、確かに牛産に間違いはない！と納得です(^-^)

ちびっこ園 田中 千寿

ちびっこ
園



心のサポーターです。よろしく!!

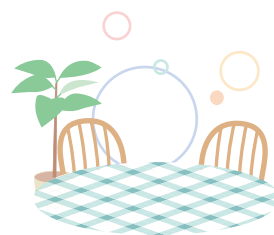


はじめまして、臨床心理士
の内田 きみ子です。

7月1日より火曜日と金曜
日の10時から16時の時間帯、
リハビリテーション医療チームの一員として働いています。

リハビリテーションに取り組んでおられる患者様の「こころのサポーター」として、一緒にゴールを目指したいと思っています。検査の評価や面談・面接などを通して、「身体だけでなく、心も元気」に、リハビリテーションに取り組んでいただくお手伝いをします。入院中の患者様のご家族のご相談にも応じます。

もう一つの仕事は、職員の皆様のメンタルヘルス相談です。気になっていること、悩んでいることがありましたら、どんなことでも構いません。臨床心理士以外に話の内容が知られることはありません。安心して気軽にご利用ください。12時から14時の間、病院3階で「こころの健康相談室」を開いています。予約制になっていますので、内田までメールをしてください。よろしくをお願いします。



求人

介護職員募集!!

資格取得支援として介護福祉士受験、介護支援専門員受験への情報提供や勉強会を行っています。

働きながら、資格取得を目指しませんか?

— 昨年の実績 —

介護福祉士試験 合格率100%
(8人受験し8人合格)



介護支援専門員試験 最高合格率 45%

問い合わせ ☎ 088-692-5757 人事担当 (仁木)



ご結婚・ご出産 おめでとうございます

平成23年3月～7月



【ご結婚】

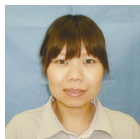
3/9 板東 こずえ (昂入所)
3/14 長岡 秋光主任 (昂居宅)
4/11 村口 史也 (病院リハ)
4/15 天羽 浩之 (昂入所)

【ご出産】

4/2 河上 典史
安奈夫妻 (昂入所)
4/5 矢野 まり (昂通所)
4/17 一宮 晃裕
千尋夫妻 (病院リハ)
5/12 浦山 和生課長 (法人管理部)
7/9 谷口 睦 (病院リハ)
7/28 井原 勇規 (生活支援ハウス藍)
美紀夫妻 (障害者生活支援センター)

新入職員紹介 2011.4以降

医療法人 凌雲会▶



1 病棟准看護師
加地 歩美



2 病棟看護師
内田 きみ子



2 病棟准看護師
山下 香



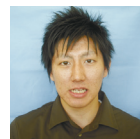
病院外来看護師
新開 真弓



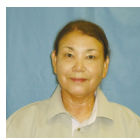
病院外来看護師
濱 鈴代



病院外来看護師
扶川 ふみよ



病院リハ作業療法士
西山 修平



昂通所リハ看護師
藤本 敏子



昂短期入所介護福祉士
森下 昌子



昂入所介護職員
吉川 亜由美



昂通所リハ介護職員
青木 由美



昂通所リハ介護職員
井上 愛子



昂入所介護職員
藤井 美智子

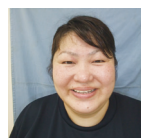


病院リハ運転手
浜村 周次

社会福祉法人 凌雲福祉会▶



凌雲デイ介護福祉士
桜井 健太



凌雲ヘルパー訪問介護員
森 祥恵



盛況!! 夏祭り開催

ありがとうございました♡



平成 23 年 8 月 6 日、第4回凌雲グループ夏祭りを開催いたしました。

今年は、3 月に東日本大震災が発生し、やぐらや舞台の材料不足なども懸念されましたが、例年同様に日ごろお世話になっております地域の皆様への感謝の意を込めて、例年よりも屋台の数を 7 ブースに増やし、皆様をお迎えしました。

今年の目玉は「海賊戦隊 ゴーカイジャーショー」です。

ショーの開演前からたくさんの子供たちや、家族連れの皆さんで会場は大興奮です。舞台前の観覧スペースは開演前にもかかわらず超満員です。

いざショーが始まると、子供たちは舞台に釘付けで、途中ではゴーカイジャーと一緒にダンスを踊ったり、ピンチになったゴーカイジャーに「がんばれ！がんばれ！」と一生懸命に声援を送っていました。ショー終了後は、子供たちお待ちかねの握手会の開催です。ゴーカイジャーに握手してもらおうと、沢山の子供たちが長蛇の列を成していました。

そしていよいよ、凌雲夏祭り恒例の盆踊り

です。この日のために約50名のスタッフが一生懸命練習をつんでまいりました。おなじみの炭坑節、東京音頭に最後はにぎやかな花火音頭で締めくくり。いつもの制服ではなく、あでやかな浴衣姿の女性スタッフは参加者の方からも好評です。皆さん職員の輪の中に入って一緒に盆踊りを踊ってくださいました。

夏祭りのフィナーレを飾るのは、徳島の夏といえばやっぱり阿波踊り。今年も「気延べ連」の皆さんがボランティアとして協力してくださいました。洗練された踊りに参加者の皆さんもため息です。最後はにぎやかに職員、参加者の皆さん入りまじっての総踊りで興奮冷めやらぬままの終了となりました。今回も、地域の皆様と職員が一体となり夏祭りを成功させることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。次回も皆様に喜んでもらえるように企画してまいります。

夏祭り実行委員会委員長

老人保健施設 昴 課長 中 健太郎



編集後記

♪ 踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃそんそん ♪

私はもっぱら見る阿呆の阿波踊りでしたが、皆さんはどのような夏を過ごされましたか？
まだまだ暑さが厳しいようです。体調をくずされませんようにお過ごしください。

広報部 福富 郁代

